

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

阿久比町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

愛知県知多郡阿久比町

3 地域再生計画の区域

愛知県知多郡阿久比町の全域

4 地域再生計画の目標

近年の本町は、大規模宅地開発により平成 22 年から平成 27 年までの 5 年間に約 2,300 人増加し 27,747 人（平成 27 年国勢調査）となりました。その間、子育て世代を中心に人口が増加し、さらに増加傾向は続き、令和元年 10 月 1 日現在の住民基本台帳に基づく人口は 28,718 人となったものの、現在の人口動態はほぼ横ばいがあります。しかし、国立社会保障・人口問題研究所による推計によると、本町の人口は令和 42 年には 26,530 人になることが見込まれています。さらには年齢 3 区分の人口推移において平成 12 年以降、老年人口が年少人口を上回っている状態であり、令和元年には年少人口 4,857 人、老年人口 7,351 人、生産年齢人口 16,510 人となっています。

自然動態については、出生数が平成 20 年まで毎年 200 人あたりで推移していましたが、平成 21 年以降は増加傾向で推移し、平成 23 年から平成 30 年までは、300 人前後で推移しました。一方、死亡数については老年人口の増加とともに緩やかに増加していますが、平成 21 年以降は出生数の増加により毎年自然増が続きました。直近の令和元年では、出生数 230 人、死亡数 269 人で、死亡数が 39 人上回る自然減となっています。また、合計特殊出生率については平成 21 年までは全国、愛知県とほぼ同じ値でしたが、平成 22 年以降に急激に値が上がり、平成 25 年で 2.02 と全国の 1.43、愛知県の 1.47 を大きく上回る値となりました。なお、平成 30 年では 1.71 となっています。

社会動態については、平成10～13年は転出数が転入数を上回る社会減でしたが、平成14年以降、転入数が転出数を上回る社会増が概ね続いています。特に平成22年以降は転入数が際立って多くなりました。これは大規模開発による宅地分譲（陽なたの丘）が始まったことが要因と考えられます。直近の令和元年では、転入数839人、転出数870人で転出数が上回っています。なお、年齢階級別の転入・転出を男女別で見ると、男女ともに20代40代とその子どもである4歳以下の層を中心に社会増が多くみられます。また、男性では10代後半の進学・就職時の転出による社会減がみられました。40代後半以降については、男女ともに転入・転出の人口移動が少なく、社会増減がほとんどない状況です。

今後は昨今の新型コロナウイルス感染症の影響に応じつつ、将来の人口減少・少子高齢化に備える必要があります。人口減少・少子高齢化が進行していくと、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退など、住民生活への様々な影響が懸念されます。

将来的に人口減少局面を迎えた場合でも、交通便利性のよい魅力ある快適な生活空間を有し、安心して子どもを産み育てることのできる「住みよいまち」としての特性を伸ばしていくことで移住定住促進を図り、人口対策として有効なものとしします。なお、本計画に取り組むにあたって次の4つを基本目標として掲げます。

基本目標1 安定した雇用を創出する

基本目標2 阿久比町への新しい人の流れをつくる

基本目標3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標4 時代に合った地域づくり、安全・安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	町内企業の従業者数	9,055人	9,300人	基本目標1
イ	社会増人数	597人	350人	基本目標2
ウ	本町の子育て支援環境満足度	62%	80%	基本目標3
エ	住み続けたいと思う住民の率	80.6%	85.0%	基本目標4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

阿久比町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 安定した雇用を創出する事業

イ 阿久比町への新しい人の流れをつくる事業

ウ 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 時代に合った地域づくり、安全・安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業

② 事業の内容

ア 安定した雇用を創出する事業

既存産業の振興と企業誘致、農業の成長産業化の支援に努め、地域経済を活性化し、安定した雇用の創出を図る事業。

【具体的な事業】

・海外ビジネスを希望する企業や海外進出を目指す企業に対する事業展開の情報の提供

- ・基幹的な担い手などの育成・確保や生産性の優れた営農を可能とする環境整備、販売促進による競争力のある産地づくりやブランド化
- ・町、商工会、金融機関など関係機関のネットワーク体制構築による総合的な創業支援 等

イ 阿久比町への新しい人の流れをつくる事業

交通立地条件のよさとともに、暮らしやすいまちとしての魅力を発信し、地域外から人が訪れ、住み、交流する新たな人の流れをつくる事業。

【具体的な事業】

- ・観光資源を掘り起こし、魅力聞き取りアンケート、町外者の認知度調査、インターネットアンケートの実施など町の魅力発見と活用による阿久比プレイガーデンプロジェクトを効果的に推進
- ・スポーツ村を元気なまちづくりと交流の拠点に位置付け、スポーツ人口の増大のための企画、また産官学連携による健康プログラム等の開発
- ・中部国際空港や名古屋市内での阿久比町をPRするためのイベント、プロモーション活動、特産物の販売 等

ウ 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる事業

子育てしやすい環境を整備し、若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまちづくりを推進し、町の特色として「子育てするなら阿久比」をPRする事業。

【具体的な事業】

- ・商工会、農業者団体などの各種団体や近隣自治体と連携し、婚活イベントなど結婚を希望する独身者への出会いの場をつくる婚活支援事業の実施
- ・子ども医療費の支給、出産祝金、保育料軽減など、子育て世代への経済的負担を軽減するための支援 等

エ 時代に合った地域づくり、安全・安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業

住民、関係団体、町などがパートナーシップを共有し、安全・安心な地域づくりに取り組み、誰もが、いつまでも元気に、安心して暮らせるまちづくりを推進する事業。

【具体的な事業】

- ・住民の自治意識の向上により、多様化する地域課題を解決するための自主的な活動団体を増やし、魅力的なコミュニティ活動を推進
- ・医療、介護、介護予防、生活支援などのサービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の拡充
- ・名古屋市及び三河方面に通勤する住民へ新規住宅開発業者や観光協会と連携した積極的な情報発信 等

※なお、詳細は第2期阿久比町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

50,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

【検証方法】

毎年度5月に、3月末時点のK P Iの達成状況を総務部政策協働課が取りまとめる。

【外部組織の参画者】

阿久比町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。

【検証結果の公表の方法】

検証後、速やかに阿久比町ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2021年4月1日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで